

財務状況

・ 概要

新型コロナウイルスの感染拡大により教育・保育環境や生活様式が大きく変化する中、2020年度は学生、生徒、園児や保護者、教職員など学園関係者の感染防止対策と学修・保育の提供を最優先した取組みを進めてきました。

具体的には、新型コロナ感染防止対策として、各部門への感染防止関連資機材の配備のほか、乳幼児が多いかさまこども園及びいなだこども園には発熱等の症状のある体調不良児に対応する看護師を配置したほか、かさまこども園には病後児室の分室を新たに整備しました。

また、オンライン授業に必要な教育環境整備としては、大成女子高等学校の各教室に大型モニターを配備したほか、認定こども園にはWiFi・通信機器を整備し保護者への動画配信による情報発信などICT化の推進を図りました。

さらに、茨城女子短期大学においては、2020年度から開始された国による高等教育修学支援制度の周知・徹底を行うとともに同制度による授業料等の減免や給付型奨学金の支給などの経済的支援により不安を抱えた学生が学修に専念できる環境を整えてきました。

・ 資金収支計算書

資金収支計算書は1年間の活動に対応する全ての収入と支出の内容を明らかにして支払資金の顛末を表します。この計算書には当該会計年度に関係ない取引が入っていますので、調整勘定で資金の収支が修正されます。

主な収入項目である学生生徒等納付金収入は5億9,349万円で、入学者数の減少から前年度比3,797万円の減少でした。

一方で、補助金収入は、9億6,840万円となり、前年度比8,156万円の増加となりました。これは、認定こども園の施設型給付費等の増加によるものです。

また、支出項目の人件費支出は10億8,156万円で、前年度比6,710万円の増加となりました。これは退職者の増による退職金支出の増加によるものです。

教育研究経費支出は2億867万円、前年度比510万円の減少となりました。

一方、管理経費支出は1億6,818万円、前年度比548万円の増加となりました。

施設関係支出は3,984万円、前年度比742万円の減少となりました。

翌年度繰越支払資金は、前年度より1億5,804万円増の16億5,253万円になりました。

- ・ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにするためのものです。

2020年度の事業活動収入は17億2,957万円、事業活動支出は16億2,851万円、基本金組入後の当年度収支差額は3,345万円となっています。

- ・ 貸借対照表

貸借対照表は年度末の財政状態を表します。

また、資金収支計算書や事業活動収支計算書は単年度の計算書ですが、貸借対照表は法人化以来の累積の残高です。

2020年度の資産総額は68億2,176万円、前年度末より2億751万円の増加となりました。

資産から負債を差し引いた、純資産は63億8,825万円、前年度末より1億106万円の増加となりました。